

市報

とおがまち

（発行所）十日町市役所（〒748）電話（0256）22-1111（FAX）22-1101 / 昭和48年6月6日 第812号 郵政特准第1006号



8 August

11202号

人口

昭和48年7月1日現在	
世帯数	11,202 11
人口	50,080 25
男	24,137 28
女	25,943 3
面積	211.44Km ²



（注）
前年度の比較
掲載

原の十二さま 日本町東
一丁目の十二社

交通事故非常事態宣言

ことしはすでに死者4名

昨年と比較	7月末	昨年7月末
死亡	4名	2名



克雪管理センターが完成

去る7月31日、克雪管理センターが新水地区に完成しました。この施設は昭和47年～48年の2か年継続事業で総工費2,400万円を投じた鉄筋コンクリート2階建 440平方メートルのスマートな建物です。

ここには、車庫や情報管理室など雪をはねのけ山間地域の足を確保する部門。それに楽しい集いの場兼保育室、織物関係作業のできる共同作業室など雪国の特性を生かし、希望の持てる地域づくりをめざす活動の広場として利用されます。



交通安全指導所を設置

お盆を中心に、つぎのとおり交通安全指導所を設け、交通安全を呼びかけます。みなさんのご協力をお願いします。

8月10日下桑新光寺、8月12日八箇長里入口、8月15日水沢郵便局前、8月16日浅ヶ原三叉路。

ことしも八月二十日まで夏の交通事故防止運動を実施中です。八月は暑い日が多くなり、お盆やお祭りなどで気がゆるみがちになるため、交通事故がめだつて多くなります。

私たちは生きることの尊さ、人の命の尊さを考え、市民総ぐるみで悲惨な交通事故を絶滅しようではありませんか。

夏の交通作戦

夏は、海水浴等のレジャーや帰省による交通量の増加に加えて、暑さによる気のゆるみから交通事故が増加し、また、夏休みによる解放感から子どももの交通事故が多発しています。

交通事故による死者は、昨年八月中に二名に達しました。

事故を原因別にみると、運転側では、酒酔い運転、脇見運転、徐行違反、右折不適当となっており、歩行者側では、急な飛びだし、車の直前直後の横断が多くなっています。

また、年齢別では若年層の事故が多く、特に、二十歳～二十四歳までの年代がほとんどを占めています。

さらに、事故の六十％がマイ

カーによるもので、その他の車を含めると、車だけによる事故は七十～八十％になります。

十日町市は、一年中で最も事故の多発する八月に向けて、交通事故非常事態宣言を行ない、交通事故防止につとめています。

市の交通対策協議会は、この期間中、街頭指導、夜間パトロール、交通安全指導所の設置、交通安全教室の開設、交通安全施設の点検と増設を進めます。

特に、最近、暴走運転、酒酔い運転が多く、連日十日町署では取締りと指導を続けています。

安全運転の心得

暑着いときは過労運転を避け、疲れを感じたら休む。

スピードの出し過ぎ、むりな

交通安全灯を増設

農協生命共済連合会から交通安全灯として、水銀灯が六基寄贈されました。

そこで、市は五基追加して、市内の主要箇所を設置することにしました。

交通安全無事故コンクールを実施

十日町市では、交通安全協会が中心になって交通安全無事故コンクールを実施します。

これは、町内ぐるみの交通安全事故防止運動に結びつけるため、七月一日から十一月末日まで実施します。この期間に無事故無違反の町内を他の模範として表彰します。

交通安全推進員の活躍

交通安全事故防止のため、交通指

追い越しをしない。

交通渋滞にあせらず、車間距離を安全にとる。

死亡事故のトップ、酒酔い運転をやめよう。

また、道路の町名標識がないため外来者が非常に不便を感じていますので、信号機の下に町名標識をつけることにしました。これは、県が主要道路の交差点につけるほか、岡村哲さん(錦町)の香典返しのご寄贈を生かさせていただきました。

十日町市は昭和二十九年三月三十一日に市制を施行しました。この日は、米年の市制二十周年を迎えるにあたり、これにまつわる人々に登場していただいています。

今回は、市制施行の昭和二十九年生まれの池田美津子さん(生業工業)に登場していただきました。

郷土発展のかけ

十日町市の織物業は、市制施行とともに、ますます発展を続けています。わたしも学校を卒業してすぐに織物会社に入り現在製織の準備工程の仕事をしていました。

入社早々の頃は、安易な気持ちで自分の職業を考えていましたが、四年目の現在では仕事への責任と生きがいを感じられるようになりました。

わたしの育った榮倉部落は自然に囲まれ、暖かい人間味の感じられるところで、市の発展とともに薄らぎつつある郷土の素朴さを大事にしなごら、明日を築いて行きたいと思っています。

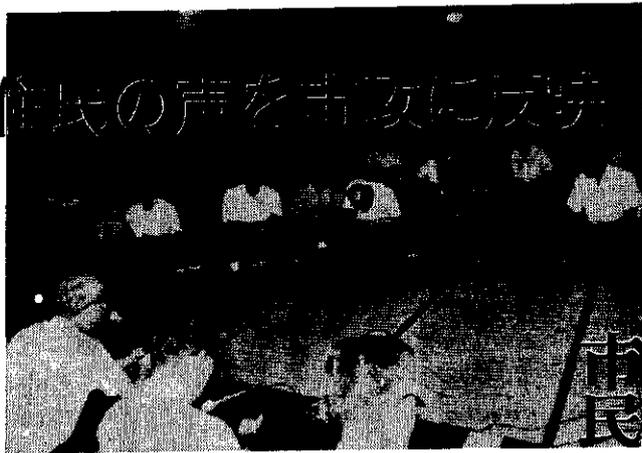
導員が毎朝制服で街頭指導をし、みなさんから喜ばれています。

さらに、六月一日から市内に六十名の交通安全推進員が配置され、各町内で交通安全の指導、交通安全施設の管理等に活躍しています。



池田美津子 (榮倉)

地域住民の声を市に伝える



市長と市長の会

昨年引き続き、みなさんのなまの声を市長が聞き、市政に反映させようと「市民と市長の会」を三条、赤倉、八箇の三地域で開きました。

さらに、八月中に二地域開く予定ですが、すでに開かれた地域では、市道の改良舗装の促進、県市道の無電化、農産地域の指定、公民館分館の施設整備、は場の基礎整備と農道整備、キャンプ場整備、学校改築、保育所、老人いこいの家の新設、テレビの映りが悪いなど貴重な意見・要望が出されました。

市長は実現可能なものは早速実施することとし、年次を必要とするものは、計画的に進めていくほか、他の機関に関連するものは、他の機関に連絡の上解決していく考えです。



ごみについての提言

各ごみステーションごとに、収集の期日・時間が決められているが、当日午前九時までに出すことというきまりのため、前日の夜ふけに出す人などが

て、付近の住民は、大変な迷惑をこうむっています。そこで、つぎのことを提言します。

(一) 出さず時間前二時間ほどに限定してほしい。
(二) ごみステーションの消毒薬を無償配布してほしい。
お答えします
(三) については、現在の収集車の台数や人員から考えると、各ステーションのごみの多少によ

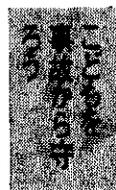
施設めぐりに参加して



池田幸子(嘉勝) 私達は去る七月十一日、市の施設めぐりの機会に恵まれ、職員の家内で回らせていただきました。視野の狭い私達にとつて数多くの施設を日で見ることができました。

工業団地や桂公園など数多くの施設を見て、市の将来の発展に希望と期待を新たにさせられました。特に、衛生センターの塵芥焼却場の悪臭の中で懸命に働く作業員の皆様の容易でなさは、痛感いたしました。近く近代的施設の整った焼却場もできるそうですがごみを出す私達は、処理する人の身になって出さなければならぬと認識させられました。

夏を健康で楽しく



子ども達の夏休みも半分すぎてしまいました。これまで海や山へ行って来た人、あるいはこれから出かける人もあるかと思いますが、夏休み中は、ちよつとの気のゆるみから、いろいろの事故の起こりやすい季節です。

残された夏休み期間中、子どもを非行化や事故から守り、元気を姿で新学期を迎えられるよう注意し、この夏を快適にすごしましょう。

水難事故に注意を 暑い時期ですが、水遊びなどで子どもを川や池などの危険な場所に近寄せないよう注意してください。



なお、最近プールでの水死事故が市内で起こりました。プールで泳ぐときは、水泳のきまりを守って楽しく泳ぐようにしてください。また、子どもの同伴者は、責任をもって監視することが大切です。

夜遅くまで遊んでいませんか。これは非行化の一因です。夕食は家族全員で、また機会あるごとに一家団らんのもつてください。親の無関心や「うちの子に限って」という考えが非行化へのチャンスとなりかねません。

伝染病予防は、まず手洗いの励行から。赤痢や腸チフスなどの夏の伝染病や食中毒の防止は、まず調理前と用便後の手洗いの励行です。食品はなるべく加熱し、調理場は清潔に。

このほど城之古地内の信濃川中州で捕獲した野ねずみから、ツツガ虫病が検出されました。この場所では、三年前ツツガ虫病が発生していますが、信濃川付近は危険です。十分ご注意ください。

ツツガ虫病に注意 自分で生活設計をたてる大切な時期です。子ども達がきまりよい生活をわくわくしているか点検してください。

きまりよい生活 夏休みは、子どもが自分で生活設計をたてる大切な時期です。子ども達がきまりよい生活をわくわくしているか点検してください。

花火の事故 お盆やお祭りなど、花火の使用が多くなります。説明書をよく読んで正しく使用してください。



統計からみた

市民のくらし



1人当たりの所得

このほど市役所商工課で昭和46年度の市民所得調査をまとめました。つぎに市民のくらしについて記してみますと……。



市民一人当たり五十万円

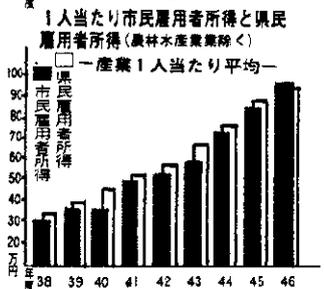
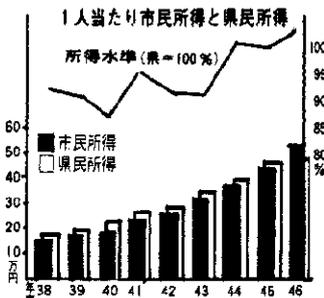
県民所得を上回る

市民所得は、総額二百五十億円となり、前年にくらべ十六%の伸びを示しました。

この総額のうち五十七%を占める雇業者所得は、百四十一億円で前年にくらべて二十一億円の増となり、賃金ベースの上昇や雇業者数の増加もあって順調な推移を示しています。

また、一人当たり市民雇業者所得(農林水産業を除く)でも九十五万四千円となり、県民所得をはじめ上回ったことも特徴といえます。

反面法人所得は、総額三十二億円となり、前年にくらべ四%の減少となりました。



伸びゆく第二・第三次産業

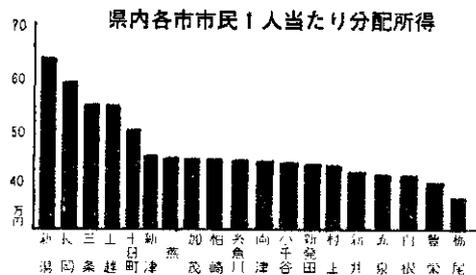
名目で十八パーセント

所得を生産面からとらえた市内純生産は、総額二百六十九億

円となり、経済成長率(対前年増加率)は名目十八%、実質で



就業者1人当り生産所得



十%伸び、県内純生産の伸び(名目で九%)を大きく上回りました。

この結果、就業者一人当たり純生産は八十八万円となり、前年にくらべ十二万円(十五%)の増加を示しました。

産業別をみると、第一次産業は昨年に続き、米の生産調整の影響も受けて〇・三%の減少を示したが、第二次産業は十七%、第三次産業は二十三%と、いずれも前年にくらべて伸びを示しました。

とくに第二次産業については、鉱業、建設業は大幅な伸びを示したほか、中心産業である製造業においても四十六年八月ドルショック以来の不況を間接的には受けたものの対前年比十二%の上昇率は、全体産業の伸びを引っ張った大きな原因ともいえます。

一方、第三次産業については、なかでも大きなウエイトを占める卸小売業、サービス業は二十%以上の伸びを示したことにより全体産業の伸張率を手伝っていることとなります。

楽しいショッピングのひととき



市民所得とは

一定期間(通常一年)における市内各産業の最終生産物の価値評価額であって、個人法人が名目上所得したものを、分配所得と個人所得

分配所得とは、市内の居住者が労働を提供して得られた所得等と、法人税や法人が従業員等のため積立てているお金(法人留保)を総合したもので名目上の所得ともいえます。個人所得は、分配所得から法人税、法人留保を除き逆に出稼者所得等を含むもので、実質上の所得ともいえる

名目と実質成長率

総所得等の合計された数値を前年と比較した伸び率。実質成長率は、名目指数を消費者物価指数で割ったものです。

第一、二、三次産業

第一次産業 農業、林業、水産業。第二次産業 鉱業、建設業、製造業。第三次産業 卸小売業、金融・保険、不動産業、運輸・通信業、電気・ガス・水道業、サービス業、公務。

市民雇業者所得

雇業者所得 給与額+副業収入+社会保険料雇主負担。純生産

純生産額 生産額-原材料使用額-減価償却費-国内消費税-その他の物的経費。

消費者物価指数 品物、家賃の値段を一年前と比較し指数で表わしたものと

これからの所得、消費



人口5万人、就業者2万9千人。この数字は昭和46年です。

しかし、昭和60年になっても人口、就業者とも多少増加する程度で、大きな期待はできません。なぜならば、昭和35年から45年までの人口は、横ばいです。

これは、自然人口の増加(出生の増)と社会的人口(転出者の増)が横ばいであるからです。

さて、1人当たり分配所得では、昭和46年で県平均に追いつき、追い抜きました。

しかし、国平均とくらべると、国が63万円、当市が50万円、その差は13万円と大きなひらきとなっています。

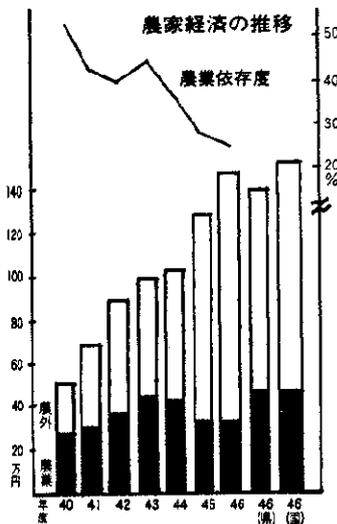
昭和50年、国平均に追いつくには、市民総所得で537億円に達しなければなりません。

当市は、昭和50年には455億円が推計されるので、昭和50年の国平均にはとてもおよびません。

しかし、1人当たり所得の伸び率が、当市は年率16.2%、国平均を年率14.2%と国定した時、昭和60年の国民所得は1人当たり412万円、当市でも411万円と推計され、国平均に近づきます。

一方、家計費の伸びは、所得の伸びよりやや高く、社会的変動に伴い食料費を越えた雑費のウェイトが大きく変化し、このため家計の負担は一層増されてきました。

また家計消費の地域格差も年々縮小してきたので、昭和50年代後半には国平均に追いつくことになるでしょう。



農家所得のうち、農業に対する依存度は昭和43年を除き低下の一途を辿っている。

	1人当り個人所得	対前年比 ^{46/45}
市	491,129円	18.9%
県	492,652	12.0
国	581,700	12.2

	1人当り消費支出	対前年比 ^{46/45}
市	364,148円	22.7%
県	355,011	11.8
国	405,055	11.7



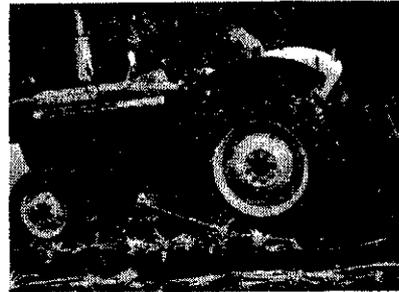
個人所得と消費支出

市内に居住する個人が、生産の見返りとして分配された所得は、総額二百四十四億円と前年にくらべ十九%伸びました。一人当りの個人所得は、四十九万円、県平均より千円ほど下回っています。

一方、消費支出は総額百八十一億円と前年にくらべ、二十三%の多い伸びを示し、一人当たりの消費支出は三十六万円と県平均をはじめ上回ったことも特徴といえます。

しかし、反面消費支出の増により、一人当り個人貯蓄は七万三千円となり県の七万六千円より三千円ほど下回っています。

消費者物価指数も伸びる
市民生活は、しだいに多様化



してきましたが、これを制約するものに物価の上昇があります。年々物価は、全面的に上昇し、十日町市でも昭和四十六年を百とすると、昭和四十七年で四・九%の上昇を示しています。この物価の上昇のため、家計費は圧迫され、名目的には高い伸びを示しましたが、実質とのギャップはかなりの差があるといえます。

伸び悩みの農業所得・伸びる農外所得と家計費

昭和四十四年の米価据置きや、四十五年の米の生産調整を



実施してから、農業の純生産は下降を続けました。従って所得は依然として農業所得より農外所得に依存し、農業所得の伸び悩みが見られます。

一戸当たり平均農業所得をみますと、昭和四十六年は三十五万五千円と、四十年にくらべ二・二倍の低い伸びにとどまっています。

農業依存度は二十四%
反面農外所得は、四十六年で百一十一万一千円となり、四十年にくらべ四・三倍にもなりました。このため農業依存度は、国平均の三十一%、県平均の三十三%より低い二十四%となりました。

非農家の家計費

一方、昭和四十六年の家計費は百三十九万四千円と、四十年にくらべ二・二倍となりました。農業所得に占める家計費は、国平均の三十四%、県平均の三十五%より低い二十六%となりました。

非農家(単身者を含む)の家計費も高度経済成長につれて伸び、四十六年で一人当たり家計費は四十七万円となり、四十年にくらべ二・八倍となりました。

なかでも雑費にも教育、レジャーに関する支出は、四・四倍にもふくれあがっています。

46年	市	県	国
農業所得	355	464	466
農外所得	1111	933	1047
農家所得	1466	1397	1513
農業依存度	24.2%	33.2%	30.8%
家計費	1394	1318	1353
家計充足率	25.5%	35.2%	34.4%

(単位千円)

税金の使いみち



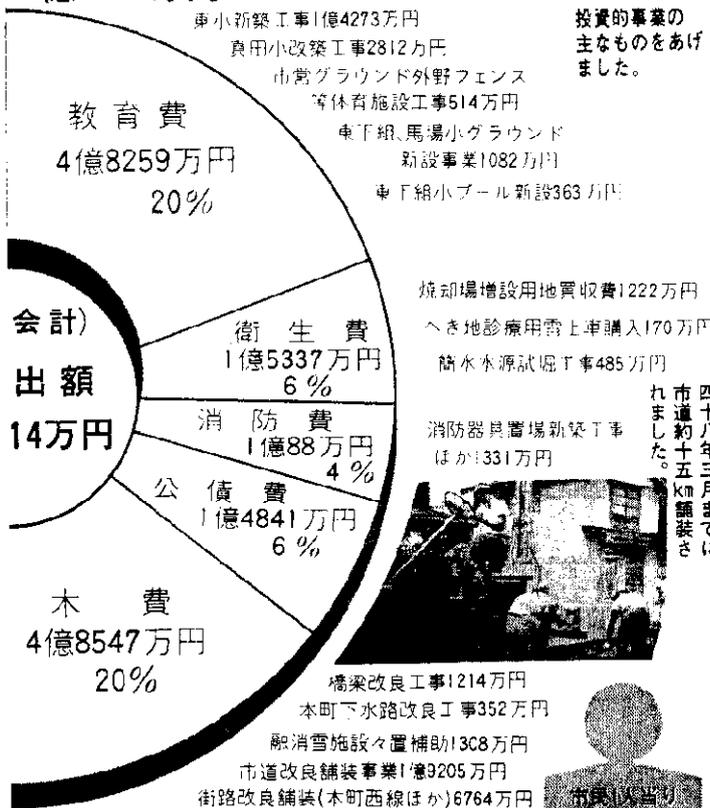
昭和47年度決算

はいったお金 総額26億0060万円

一般会計

市税	地方交付税	国庫補助金等	国庫補助金等	国庫補助金等	国庫補助金等	国庫補助金等
7億8582万円	7億6388万円	2億7284万円	2億1920万円	1億5071万円	1億170万円	3億645万円
30%	29%	10%	9%	4%	6%	12%

1億6946万円(うち繰越事業951万円)

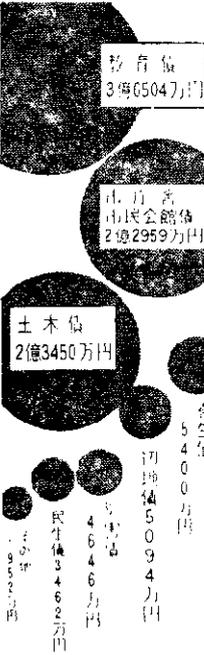


は48.3.31現在で計算)

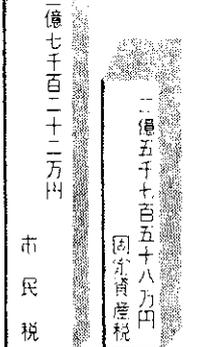


市債の状況

市債は借金のことです。この借入先は大蔵省58%、郵政省21%、市中金融機関10%、残りは県貸付金、その他となっています。



市税の状況



市の家計を
あつめ直した

財政事情の公表

一般会計、特別会計の四十七年度決算と四十八年度の予算執行状況を図表を中心にお知らせします。

十日町市告示第十七号
十日町市財政事情の作成及び公表に関する条例の定めるところにより、昭和四十八年一月一日から同年六月三十日までの間における本市の財政事情を公表します。

昭和四十八年八月一日
十日町市長 春日 由三

特別会計

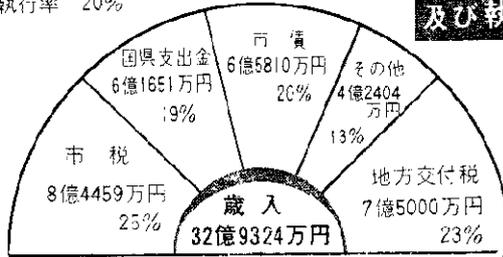
会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険	4億8879万円	4億5935万円	2944万円
直営診療所	2693万円	3980万円	△1287万円
簡易水道	2881万円	2479万円	402万円
と畜場	97万円	97万円	0
計	5億4550万円	5億2491万円	2059万円

私たちの

まもなく完成予定
の東小学校
(47年度)
の概算

一般会計	当初予算	31億7755万円
	6月末予算	32億9324万円
	収入済額	7億9366万円
	支出済額	6億4934万円

上半期歳入



48年6月末の予算及び執行の状況

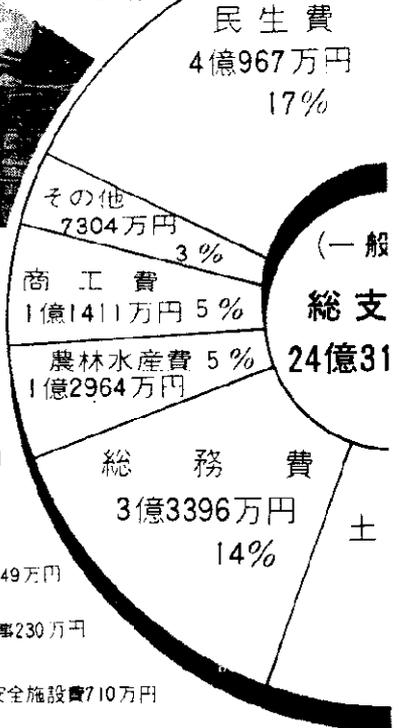
市税の内訳	固定資産税	2億8993万円	電気ガス税	4519万円
	市民税	3億9293万円	その他	4171万円
	たばこ消費税	7483万円		

上半期歳出 総額32億9324万円

★…予算額 ●…割合	教育費 ★8億5469万円 ●26%	総務費 ★3億294万円 ●9%	民生費 ★5億3828万円 ●16%
土木費 ★6億7115万円 ●21%	衛生費 ★2億2632万円 ●7%	農林水産業費 ★1億8337万円 ●6%	商工費 ★1億3499万円 ●4%
公債費 ★1億6692万円 ●5%	消防費 ★1億2996万円 ●4%	その他 ★8462万円 ●3%	

翌年度繰越額

とんいこいの家建設工事2450万円
上原児童遊園地建設工事
200万円



特別会計

国民健康保険	簡易水道	直営診療所
5億9万円	4億648万円	1億277万円
1億2669万円	4億965万円	3億319万円
	485万円	3億355万円
		差引1792万円
		差引8021万円

危険箇所には交通安全標識をたてました。

市有財産の現在高

土地 585,918㎡	建物 102,479㎡	車両 37台
証券その他 138万円	山林 14,135,827㎡	基金 1億5493万円

市民1人あたりのおもな歳出(人口)

土木費 9,718円	教育費 9,660円	民生費 8,200円	総務費 6,685円
---------------	---------------	---------------	---------------

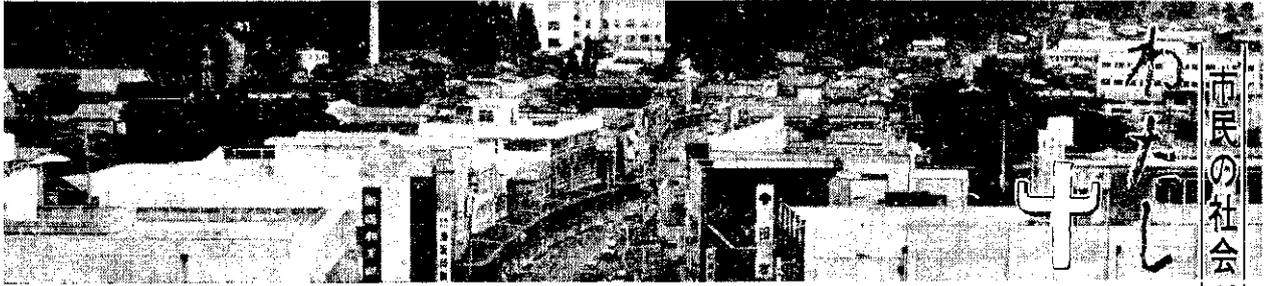
上原児童遊園地で遊ぶチビッコたち

上原児童遊園地
建設補助1067万円
農林水産関係事業補助816万円
市単土地改良事業769万円
林業構造改善事業1633万円
小基模土地基盤整備700万円

と畜場整地工事249万円
旧産業振興所移転工事230万円
交通安全施設費710万円

市民の社会科教室

わたしたちの十日町市



小学校三年社会科副読本「わたしたちの十日町市」が、このほど市教育委員会、同教育振興会によって編集発行されました。この資料をもとに十日町市の位置、市の人たちの仕事、くらしの工夫、住みよい街づくりなど市のあらましを記してみます。

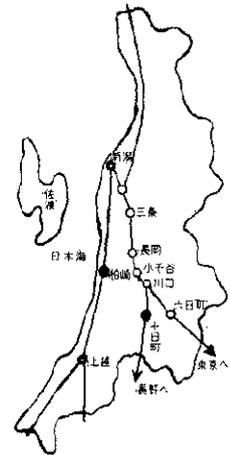
位置

十日町市は、新潟県の南にあり、市の東側は堀之内町や六日町、西側は川西町、松代町につながっています。
南の方は中里村や津南町があり、そのむこうが長野県です。北の方は小千谷市で、そのむこうが長岡市です。

地形

十日町市の地形は、まん中が平うでまわりが山になっており、この土地のまん中を信濃川がなん万年も前から流れ続け、川の両側に河岸段丘と呼ばれる階段のような形をつくりました。多くの人たちは、この段丘の上の平地に部落や村をつくって暮らしてきました。

いちばん人の集った所が中心になり、現在そこには工場、商店、役所などが集まっています。
交通

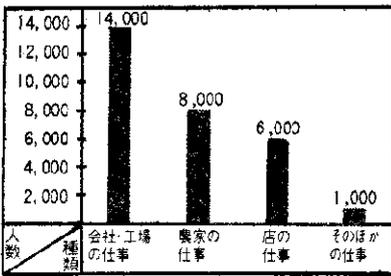


鉄道は、長野と越後川口を結ぶ飯山線が通っています。
道路は、国道一一七号線、国道二五二号線、国道二五三号線が通っており、現在十日町市と堀之内町間、十日町市と上越市間の道をよくする仕事が進められています。

このほかに山地に林道がひら

十日町市の人たちの仕事

わたしたちの市の人々がどんな仕事をしているか調べてみると、つぎのグラフのようになります。

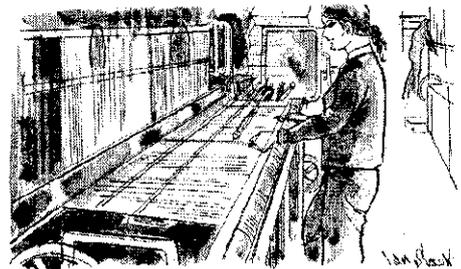


かれ、山地と山地の往来もろくなりなりました。
十日町市は冬になると、雪のため交通が不便になり、むかしから苦しんできました。

しかし道路をよくしたり、除雪機械、流雪溝、消雪パイプなどの活躍で国道はほとんど止まることはなくなりました。

十日町市はおよそ千四百もの工場がありますが、そのほとんどが織物をつくる工場です。織物機械もだんだん大型になり、人手をけなくとも、たくさんおれるようになりました。

十日町では、五人のうち一人が織物工場に働いています。織物は求評会などで選んでもらって、買つき、問屋を通して大きな都市へ売られています。



病気を防ぐ

十日町市に住む人が、安心してくらすためにどのようにしているか、調べてみましょう。
どんな病気でもかからないようにすることが大切ですが、特に伝染病はうつるから大変です。伝染病にかかった人は、隔離病院へ入れ、家の人たちを検査します。市役所からは、家中やまわりを消毒します。

保健所は、食堂や魚屋などの食べ物、売物の店を検査したり、市の保健婦と協力して健康相談や赤ちゃんの育てかたの指導もします。

市の衛生課では、保健所と連絡して日本脳炎、種痘、インフルエンザなどの予防接種をしたり、か、はえ、ねずみを退治したり、街の消毒をしたりします。

十日町のつりかた

明治時代には、今の新潟県は、柏崎県、水原県、佐渡県にわかれていて、十日町は柏崎県に入っていました。
明治十七年には、わたしたちの市は十日町村とつくつかの村に分かれていました。

そして明治三十年には、十日町村が十日町になり、七つの町や村に分かれていました。

昭和二十九年に十日町と川治、六箇、中条の村が一緒になって十日町市が誕生し、ついで吉田村、三十年には下条村、三十七年には水沢村が加わって今の姿になりました。
昭和二年に鉄道が越後川口と十日町、昭和四年に豊野と越後川口が開通しました。それまでは、馬車や信濃川の船で荷物を運んでいました。現在では、直江津と十日町と六日町を結ぶ鉄道、北越北線も工事が進められています。

また、東京と新潟を結ぶ上越新幹線が完成する昭和五十一年頃には、十日町市と東京は一時間半くらいで結ばれることになりました。

今後わたしたちの十日町市はどうなっていくのでしょうか……楽しみです。

走りまくる救急車

救急車の出動はふえる一方、一日2回以上の出動もめづらしくなくなりました。救急分隊は連絡を合図に今日も街にとびだしていきま

出動態勢で待機



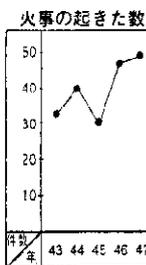
救急出動ノ車中で本部と連絡



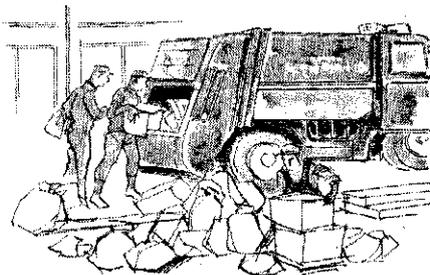
事故現場で応急処置



負傷者をいたわりながら病院へ



市の交通安全対策会議は、交通事故防止計画をたてたり、多数の市民のみなさんと協力して交通指導にあたっています。



まじまじに
ごみをそのまま川にすてたのでは、流れがとまったり、いやなおいがするばかりでなく、伝染病がはやりたりして、公害のもとになります。
市では、ごみ集めを毎日して街をきれいにすることに力を入れています。
六台あるごみ収集車が走りまわってあつめるごみは、一日に二十トンくらいになります。

水道をひく
水道が引かれる前は井戸水や清水を使っていたが、消毒しないと伝染病などの発生原因になりました。
しかも工場などがどんどん建つようになると、水が足らなくなり、地域の人たちは水道が欲しいと市役所に相談しました。
市役所は、昭和三十三年に水道を引きました。
水道水は、信濃川の水を下島などから取り入れ、城ヶ丘など

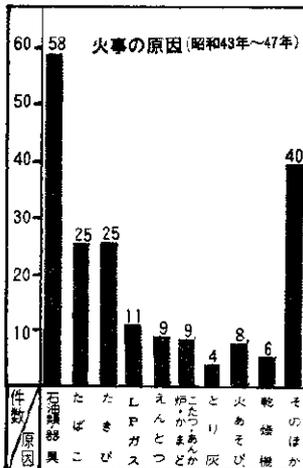
水道をひく

ごみは下島の衛生センターのごみ焼却場で焼いたり、燃えないごみは、川西町と共同で川西町焚谷へすてています。
ごみはどんどん増えていますので、さらに今年から二年がかりで六十トンのごみを焼くことができる施設をつくる計画です
衛生センターには、焼却場のほか、し尿処理場、火葬場もあって、みんなのために役立っています。

明治三十三年に大火事(焼けた家八百二十三戸、焼け出された人三千八百八十二人)がありました。
その後昭和四十三年から四十七年までの五年間に百九十五回も火事が起きています。計算すると月三・二回起きていることになりました。
火事は、ちょっとした不注意から家や道具を灰にします。人命にもかかわる恐ろしい災害です。

災害を防ぐ

火事や交通事故を防ぐ



の配水池から家庭に送ります。市内のほとんどの家が、水道か部落にある簡易水道の水を使

っており水道のおかげで伝染病も少なくなり、日照りが続いても水の心配をしなくてすみます

市には火事を防いだり、消したりしてみんなの安全を守るため消防署があります。
消防署では、四十人の人たちが昼も夜も交替で休みなく仕事をしています。そのほか十九の消防団があり、千四百人以上の人たちが火事が起きると消防署の人と力を合わせて火事を消します。
今年の四月から市だけでなく中魚沼郡と一緒に広げたい地帯を火事から守る組織になります。

人家の火災(47・4上川町)



した。

そのほか、消防署は救急車を出して急病人やけが人を病院まで運ぶ仕事もしています。
救急車は、昭和四十七年一月から四十七年十二月の一年間に五百二十八回出動し、五百八人を輸送しました。このうち交通事故によるものが二百二件とトップを占めました。

恐しい交通事故を防ぐために市では交通の激しい道に歩道を作ったり、道を広げたりしています。また、警察署では交通事故の多い所については原因を調べ信号機や交通標識を取り付けたりしています。

市の交通安全対策会議は、交通事故防止計画をたてたり、多数の市民のみなさんと協力して交通指導にあたっています。



十日町市は、「雪と雪ものの街」として知られています。

この深い雪に閉じこめられた暮らしの中から織物が生まれたのです。

ずっと昔、山野にはえていた「からむし」をつむいで麻布がつくられました。

江戸時代になって「越後縮」の主な産地になりました。今から百五十年ほど前、絹織物を織りはじめ、明治時代には「明石縮」がつくられ、織物産地として全国に知られるようになりました。

昭和三十四年頃から「マジリカおめし」が人気を呼び、つづいて「黒はおり」がたくさん売れるようになりました。

最近では、「中振袖」「訪問着」などの染加工をした商品、しぶいおしきれ着として「一袖」「餅」などのきもの総合産地として、年間四百億円以上の生産をあげています。これからも研究を重ね、よい織物をつくり出して行くことでしょう。

県芸術祭に二参加

合唱部門、演劇部門とも九月十日までに申込みくたさい。

申込先、詳細は中越教育事務所社会教育課 九九〇長岡市四郎丸町 電話二四一〇一、一〇一へ。

社会福祉大会のお知らせ

第二十二回十日町市社会福祉大会は、八月二十二日午前九時から市民会館で開催されます。お出かけください。



統計グラフ全国コンクール作品募集

統計思想の普及向上と表現技術の研さんをほかるため、つきのとおり作品を募集します。

(応募資格) 第一部 A 小学校三年以下の児童。第一部 B 小学校四年以上の児童。第二部 中学校の生徒。第三部 高等学校以上の生徒、学生。第四部 一般(課題)自由(規格)第一部、第二部 B2 判仕寸法。第三部 第四部 B1 判仕寸法(送付先)新潟市学校町通り一番町、県統計課内統計係 千九五一(締切)九月十日、くわしくは、市商工課統計係 七二二一 一 一 番へ。

8月15日 全国戦没者追悼式 正午には黙とうを

雪害を防ぐ

十日町市は、新潟県の中でも特にたくさん雪の降る所です。写真は昭和二十年の大雪のようです。この年は、四層も雪が積りました。

昭和四十三年の雪による損害は二十億円にもなりました。雪が積ると車が通れなくなる道路が多くなります。特に山地の人々は、よそへ出かけるのに大変な苦労が起きたり、時間がかかったり暮らしに必要な品物が不足したりして大変困ります。また、積もった雪の重さで家がこわれてしまったり、雪の重さで家がこわれてしまったりすることがあります。

わたしたちの暮らしと市議会・市役所のはたらき

市では、その年のめあてを決めて市民の願いの強いものから仕事を進めます。

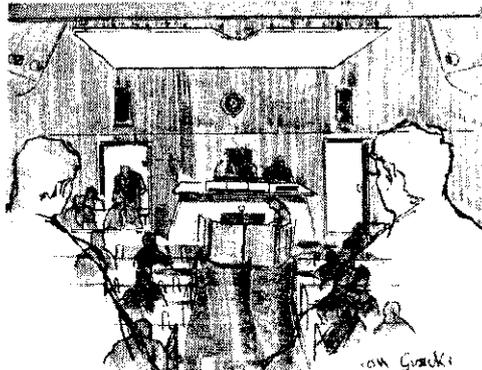
どの仕事をどのように進めるか話しあうのが市議会の仕事です。市民の選挙で選ばれた

わたしたちの暮らしと市議会・市役所のはたらき

市議会のはたらき

市では、その年のめあてを決めて市民の願いの強いものから仕事を進めます。

どの仕事をどのように進めるか話しあうのが市議会の仕事です。市民の選挙で選ばれた



ブルで遊ぶ児童たち(市立児童館)

を使って道を踏み固めたりして冬の交通の安全に努めています。それでも、急病人が出たら大変です。市では救急車を置き、いつでも病人を運べるように準備しています。



二階大屋根より高い本町二丁目(昭和二十年冬)

二十八人の市議会議員が、みんなの代表として市議会を開いていろいろなことを決めます。

市民の願いは、場所や仕事によって違います。市議会議員はたくさんの方の希望をよく聞いて、どうしても必要なことから仕事を進めるよう相談します。

市役所

市役所では、市民に選ばれた市長と四百人あまりの人たちがいろいろな係りに分かれて仕事をしています。

消防の仕事、ゴミや危険物を集めて街を美しくする仕事、保育所の仕事、より住みよい街にする仕事などわたしたちの市民一人一人につながる仕事があります。

市役所では、このように多くの仕事をしていますからたくさんのお金をつかいます。

住みよいまちづくり

市は、住みよい街にするために現在つぎのような計画を立てて努力しています。

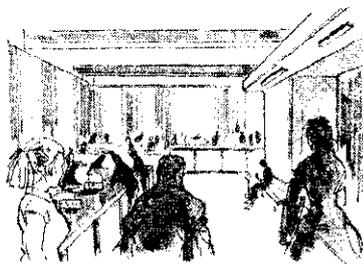
道路の改良と、ほま、なだれの危険を無くし、交通を便利にし、道路の無雪化を進めます。

年次計画で下水道の施設をつくり、自然の川をとりもどし、きれいな街をつくりたいです。

工業をますます盛んにするため、織物工業団地をつくるなど、産業環境の整備をはかり、公害の起さない整った街づくりを計画します。

商業は交通網の発達に伴い、商圏の拡大をはかります。

農業は田を耕地整理し、機械を使えるようにしたり共同の仕事をする予定です。そのほか、苗場山ろくの開発、魚沼スカイライン、当間山自然公園の造成など行ないたいめくまれた土地、豊かな水すぐれた自然をあわせて開発し、豊かな街づくりをめざします。



保育所や市民会館

このお金は、国や県を出してくれるものほかになんさんの納めた税金が使われます。

市内には、個人で建てたものも合わせ入力の認可保育所があります。さらに保育所を建設する計画を進めています。

市民会館には、五百人ほど入れる大ホールや学習室などがあり、市民体育館では、体をきたえる人たちの汗まみれの練習が行なわれています。また、城ヶ丘には市営グラウンド、栗根地内には市民スキー場ができています。

そのほか市立公園や市立公民館などがつくられ、お年寄りのための老人いこいの家や市営住宅などもあります。

このように市民がより楽しく豊かに暮らせるようにいろいろな施設がつくられています。

総合福祉センター 御陣荘の

十日町市と中魚地方の老人や婦人のみなさんから明るい余暇活動、健康増進にとつくられた総合福祉センター「御陣荘」は、ご利用いただいてから3か月を経過しました。そこでこの施設を訪問すると、老人クラブや婦人会、町内会などの集会でにぎやかでした……。市内の方は、どなたでもご利用できます。一週間前に事務局（津南局(5)-2457番）へお申し込みを。



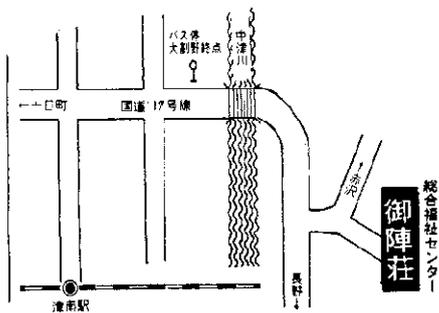
楽しい宴会風景



こんなりっぱな建物にはいれるなんて……。やっぱり長生きしてよかった！



機能回復室は、夏休みに入った子どもたちの遊び場に早がわり。



建物

鉄筋コンクリート
三階建、収容人員百五十名

使用時間

五月～九月：午前九時～午後六時まで
十月～四月：午前九時～午後五時まで

休日

毎週月曜日、十二月二十八日～一月五日



お茶会……川のせせらぎが気分を一段と盛りあげる。

使用料

十日町地域内に居住する者 (十日町市・川西町・津南町・中里村)		十日町地域以外に居住する者	
個 人	大人 150円 <small>但し70歳以上の者は半額</small>	個 人	大人 200円
	小人 70円		小人 120円
団 体	1人につき 120円 <small>但し70歳以上の者は半額</small>	団 体	1人につき 170円
	各室を専用使用する場合 1日 500円		各室を専用使用する場合 1日 700円
大集会室を専用使用する場合 1日 1,000円		大集会室を専用使用する場合 1日 1,500円	

・団体とは、引率者のある10人以上の団体のことをいいます。
・小人とは、義務教育終了前の者をいいます。

国民健康保険とはこんな制度

手続きを忘れずに

わたしたちは、いつケガや病気で医者にかかるかわかりません。そこで、日ごろから収入に充じてお金を出し合い、その中からお医者さんへ支払っていきこうという相互扶助の考えから健康保険が生まれました。

健康保険は、大きくわけて地域保険と職域保険となり、地域保険は住民を対象としたもので、国民健康保険と呼んでいます。

異動があったとき には届け出を

出生や死亡、転出入、他の健康保険への加入などの変動がある



名字は「村山」がトップ

十日町青年学級生は、このほど住民票(昭和四十八年三月三十一日現在)から市民の名字を調査。十日町市名字順位表を作成しました。

それによると、当市の名字は八百十三種類。名字のベストナンは、村山がトップで、ついで高橋、庭野、上村、生藤、樋口、池田、水落、阿部、小林の順となっています。

つたときは、十四日以内に届け出て下さい。

このような手続きをしないと、保険料の重複納入、療養費の支払いなど思わぬ損害をこうむることになりかねません。

秩序ある開発を

乱開発から緑を守ろう

青空、美しい山、豊かな流れ、恵まれた自然は、祖先から受けついで貴重な財産です。

最近、土地の乱開発や民間企業による土地の買占めが問題となつています。

新潟県では、土地の健全な開発と保全を積極的に進めるため行政指導の方針として「県大規模開発事業の適正化対策要綱」を定め、今後十平方メートル以上(別荘地は一平方メートル、住宅・工場等の建設用地は二平方メートル以上)の土地を取得しようとする

市内にも、最近不動産業者による大規模の土地取得が行なわれているようですが、秩序ある開発を図るため市民のみならずからも、業者から地域の開発について話が出た際、市とよく相談の上決定して下さい。

市は、第六回市美術展(市民展)を十月十二日から三日間、市民館(市民会館)で開きますので、作品を募集します。

夏を迎え、このところ電話局の交換台は、一〇〇番通話をはじめ、非常にこみあい、特に夜間割引のはじまる夜八時過ぎが最大ピークとなっています。

簡保資金写真コンクール作品を募集
郵便局では、簡保資金の融資施設を題材とした明るい作品を募集しています。

八月休日救急医

十二日 山口医院(院中)
電話二一三七四番

十九日 富田医院(院中)
電話二一三六九番

二十日 庭野医院(院中)
電話二一七一七番



百号まで、額ぶち付き) 第三部/新しい美術(常識以上の大きさをこえないこと) 第四部/彫型(常識以上の大きさをこえないこと) 第五部/書道(全紙四分の一以内、枠張り表装) 第六部/写真(半切り以上、パネル張り、組写真は全紙三枚以内)

出品料 一点五百円
搬入 十月六日午前九時~午後八時まで市公民館へ。

夜八時の時間帯はさけて!

夏を迎え、このところ電話局の交換台は、一〇〇番通話をはじめ、非常にこみあい、特に夜間割引のはじまる夜八時過ぎが最大ピークとなっています。

なるべくこの時間を避けたり便利なダイヤル市外通話をご利用ください。

(十日町電報電話局)

救急法講習会に、参加を

日本赤十字社では、九月十日~十三日までの四日間、市役所四階会議室で救急法講習会を開催します。

受講希望者は、ハガキに住所氏名、年齢、職業、電話番号、を明記の上、市役所内日本赤十字社十日町地区宛に、

寄付ありがとう

▽大島義隆(川原町)……五万

円▽春日市三……一万円▽田中伊作(川西町)……千五百円▽柳梅介(田中町東)……十万円▽関口文二郎(学校町)……五万円▽小川貞男(九軒新田)……五万円▽古沢賢一(安養寺)……五万円▽小嶋屋従業員一岡……二千三百二十六円▽ローターアクトクラブ……花壇二個▽内藤直義(小田原市)……千円。

簡保資金写真コンクール作品を募集

郵便局では、簡保資金の融資施設を題材とした明るい作品を募集しています。

応募者は、カラーの部(スライド二十五ミリ以上)、白黒の部(四ツ切判)とも九月二十日までに郵便局窓口へ。

簡保資金融資施設

小学校(下条、川治、飛二、水沢、中条、東、真田、二俣口、冬分校、廣地冬分校、塩野冬分校、津池冬分校) 住宅(黒沢団地) 御路(本町西線、川治昭和町線) 公園(千歳府、住吉公園)

新潟県男子警察官募集

申込期日 九月二十九日まで
受験資格 昭和二十一年四月二日から昭和三十一年四月一日までに生まれた男子。くわしくは、十日町警察署(電話二一三七一)へ。